

平成30年4月2日

松江市議会議長 森 脇 勇 人 様

会 派 名 松政クラブ

経理責任者名 森 脇 幸 好



平成29年度政務活動費収支報告について

松江市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成29年度政務活動費収支報告書

会派名 松政クラブ

1 収 入

政務活動費 2,640,000円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費		
調 査 費		
旅 費	2,361,220	<ul style="list-style-type: none"> ・衆議院第2議員会館における「原発廃炉に伴う廃炉計画と国の考え方」ほか研修 ・日本原燃・原子燃料サイクル視察 ・三隅発電所、中電中央給電指令所視察
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費		
広 聴 費		
合 計	2,361,220	

3 残 額 278,780円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

平成29年度 政務活動費使用簿 (会派)

管理番号			
使途項目	旅費		
使途内容	衆議院第2議員会館 「原発廃炉に伴う廃炉計画と国の考え方」「再生可能エネルギー供給の現状と展望」 「斐伊川水系 大橋川改修事業の進捗状況と今後の方向」 日本原燃・原子燃料サイクル施設視察		
調査年月日 (購入年月日)	平成29年7月5日(水)～平成29年7月7日(金)		
政務活動費 支出額及び充当額	【項目別支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)
	研究研修費	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	調査費	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	旅費	14名分 1,973,020 円	1,973,020 円
.	円	円	
.	円	円	
.	円	円	
□資料作成費	円	円	
□資料購入費	円	円	
□広報費	円	円	
□広聴費	円	円	
合計額	1,973,020 円	1,973,020 円	
備考	河内大輔、出川桃子、細木明美、米田ときこ、三島伸夫、柳原 治、野津直嗣、野々内誠、野津照雄、吉金 隆、森脇幸好、三島良信、立脇通也、比良幸男 (14名)		

会派名 【 松政クラブ 】

領収書貼付用紙

使 途	旅 費
<p>【貼付欄】</p> <p>別紙のとおり</p>	

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

会派名 【 松政クラブ 】

領収証

Receipt

領収証No. 170525-0148-0001
ReceiptNo.

Received From
松政クラブ 様

印紙税申告納
付につき神田
税務署承認済

領収金額
The sum of
¥1,566,040 - (JPY)

領収日
Receipt date 2017.07.12

上記の金額正に領収いたしました。
The abovementioned sum of money is duly received.

但し
In payment of 航空券代 7/5出雲→羽田、7/6羽田→青森、7/7青森→羽田→出雲
(JAL278) (JAL143) (JAL146、JAL245)

入金内訳 (Form of payment)

入金内訳 (Form of payment)	金額 (Payments)
■ 現金 (Cash)	¥1,566,040
小切手 (Check)	
銀行振込 (Bank remittance)	
クレジットカード (Credit card)	
旅行券 (Travel ticket)	
ギフト券 (Gift ticket)	
その他 (Other)	
合計金額 (Total)	¥1,566,040

東京都千代田区外神田1-1

N TOUR 株式会社農協観光
NOKYO TOURIST CORPORATION

発行店舗：島根支店
(Office)



担当者印の無いもの並びに金額訂正のものは無効となります。

What amount of correction will be disabled as well as those with no indication personnel.

(様式 5)

旅費計算書

会派名

松政クラブ

用務先	東京都／青森県六ヶ所村										
用務内容	・衆議院第2議員会館 「原発廃炉に伴う廃炉計画と国の考え方について」 「再生可能エネルギー、エネルギー供給の現状と展望について」 「斐伊川水系 大橋川改修事業の進捗状況と今後の方向について」 ・日本原燃・原子燃料サイクル施設視察										
出張期間 (出発及び帰市)	平成 29 年 7 月 5 日(水) ～ 平成 29 年 7 月 7 日(金)							(2 泊 3 日)			
旅 費 請 求 明 細											
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		備考
		到着地	宿泊地	路程	運賃等	特別料金	日数	定額	日数	定額	
				km			日	円	日	円	
H29.7.5	水	松江市	東京都	航空機 京急 JR	34,600 410 160		1	2,200	1	10,900	
H29.7.6	木	東京都 東京都 六ヶ所村	東京都 六ヶ所村 青森市	JR 京急 航空機	160 410 36,200		1	2,200	1	10,900	
H29.7.7	金	青森市 松江市		空港連絡バス 航空機 航空機	690 20,400 19,500		1	2,200			特別乗継割引 特別乗継割引
小 計					112,530		0 3	6,600	2	21,800	
一人当たり合計				参 加 人 数			会 派 合 計				
140,930 円				14 人			1,973,020 円				

※異なる路程で参加した者があった場合は、別に旅費計算書を作成すること。

- 備考
1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
 2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
 3. 変更は朱書すること。

※ 路程欄

7/5	出雲空港	→	羽田空港	→	品川駅	→	新橋駅	→	衆議院議員会館	→	宿泊先		
	9:25	航空機 (JAL278)	10:50	京急	JR								
7/6	宿泊先	→	新橋駅	→	品川駅	→	羽田空港	→	青森空港	→	日本原燃・原子燃料サイクル施設	→	宿泊先
			9:55	JAL143	11:10	貸切バス	13:30				16:00		
7/7	宿泊先	→	青森空港	→	羽田空港	→	出雲空港						
		連絡バス	15:15	JAL146	16:30	17:00	JAL285	18:30					

(様式3-1)

研究研修、調査 報告書

松政クラブ 幹事長 森脇 幸好

- 1、期 間 平成29年7月5日(水)～平成29年7月7日(金)
- 2、会 場 等 7月5日(水) 衆議院第二議員会館518号室
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 TEL03-3581-5111(代表)
- 7月6日(木) 日本原燃株式会社・原子燃料サイクル施設
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸2番地42
TEL0175-72-3107
- 3、調査項目等 7月5日(水)
13:30～14:45(質疑応答含む)
・原発廃炉に伴う廃炉計画と国の考え方
・再生可能エネルギー、エネルギー供給の現状と展望
15:00～16:00(質疑応答を含む)
・斐伊川水系 大橋川改修事業の進捗状況と今後の方向について
- 7月6日(木)
・視察 日本原燃株式会社・原子燃料サイクル施設
- 4、講師(対応者) 7月5日(水)
・原発廃炉、再生可能エネルギー関連研修
経済産業省 資源エネルギー庁
原子力立地・核燃料サイクル産業課 覚道崇文課長
原子力発電立地対策・広報室 渡邊宏和企画官
原子力立地政策室 山岸課長補佐
原子力政策課 島津課長補佐
新エネルギー課 梶 課長補佐
・斐伊川水系 大橋川改修事業の進捗状況と今後の方向関連研修
国土交通省 水管理・国土保全局治水課 青山貞雄課長補佐
〃 久保田基寛調査係長
- 7月6日(木)
・日本原燃株式会社 社員
- 5、参加者 河内大輔、出川桃子、細木明美、米田ときこ、三島伸夫、柳原 治、
野津直嗣、野々内誠、野津照雄、吉金 隆、森脇幸好、三島良信、
立脇通也、比良幸男 計14名

6、調査内容・所感等

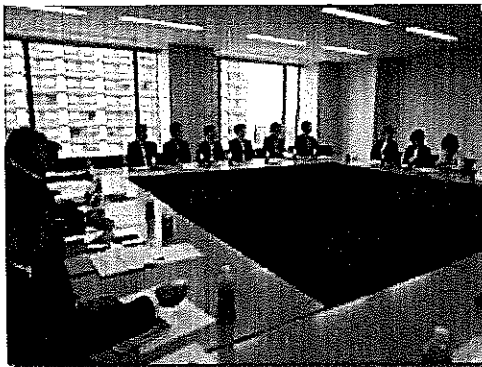
◎7月5日（水）

松江市議会松政クラブの会派研修の1日目は、衆議院第二議員会館会議室で、2つのテーマについての研修会です。

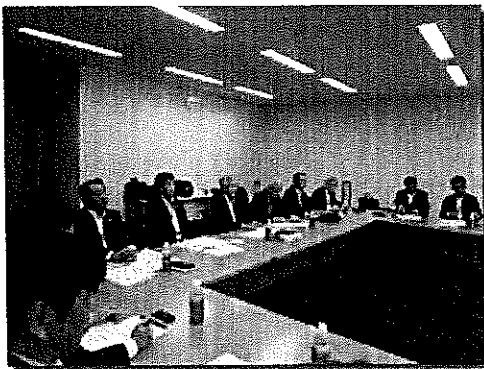
13時30分からは、「原発廃炉に伴う廃炉計画の課題と国の考え方」、「再生可能エネルギー、エネルギー供給の現状と展望」の研修。講師は、経済産業省資源エネルギー庁の原子力立地・核燃料サイクル産業課の覚道課長など6名の職員の皆さんでした。

研修は、我が国における原子力発電所の現状や廃炉措置について、核燃料サイクルの仕組み、エネルギー基本計画における位置付け、核燃料サイクルのメリット、青森県に立地する核燃料サイクル関連施設、六ヶ所再処理工場、また、再生可能エネルギー政策の現状と展望についてなどを学びました。

7月4日の6月議会最終日の全員協議会で「島根原子力発電所1号機の廃止措置計画に対する事前了解について」協議し、議会として了解の意向を示したばかり。多くの質問も出され、明日6日の「日本原燃株式会社・原子燃料サイクル施設」の知識習得を兼ねて、非常に有意義な研修でした。



経済産業省職員を迎えて



研修中

次の研修は「斐伊川水系 大橋川改修事業の進捗状況と今後の方向について」。講師は、国土交通省水管理・国土保全局治水課の青山課長補佐など2名の職員さんでした。

斐伊川・神戸川の治水計画(斐伊川3点セット)の概要、大橋川改修の計画概要、平成29年度の事業予定の説明を受けました。

本市の重要な治水問題とまちづくりの課題となっている大橋川改修事業について、本省の考え方を直接聞くことができました。



大橋川改修の研修中

◎7月6日(木)

東京を後に、6日は青森県六ヶ所村にある「日本原燃株式会社・原子燃料サイクル施設」を視察しました。

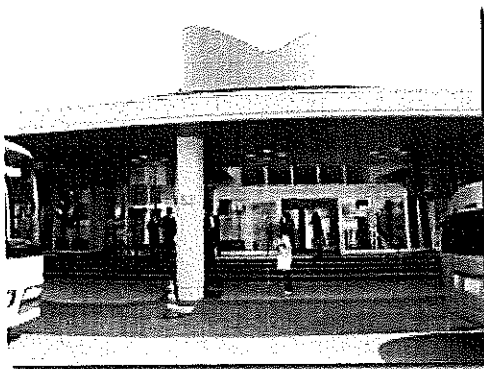
日本原燃株式会社では、六ヶ所村において原子燃料サイクル施設（ウラン濃縮工場、再処理工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター）の建設・操業を進めています。

原子力発電の燃料となる天然ウランは、製錬・転換・濃縮・再転換・成型加工という一連の工程を経て燃料集合体に加工された後、原子力発電所で使用されます。

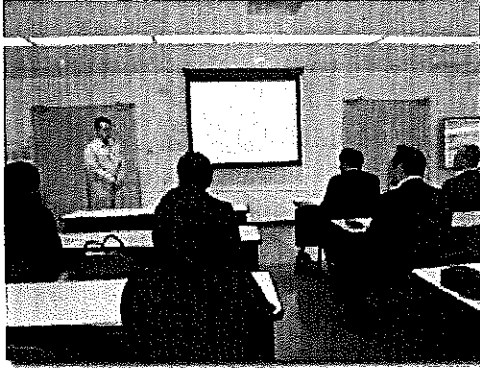
使用済燃料の中にはまだ使えるウランや新たに生成されたプルトニウムがあり、これを再処理して繰り返し使う「原子燃料サイクル」により、エネルギーの長期的な安定確保が可能とするもの。加えて放射性廃棄物を徹底管理する設備で、サイクルを完結するものです。

視察は、「六ヶ所原燃PRセンター」でまず説明を受けてから施設見学をしました。免許証実物を必携という厳重なチェックを受けて、向かった施設は「ウラン濃縮工場」。次に、「低レベル放射性廃棄物埋立センター」、「使用済燃料受入貯蔵施設」、「高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター」などを視察しました。

原子燃料サイクル施設の安全性は、今後の放射性廃棄物の処理や原子力発電のカギを握っています。完成された高レベル放射性廃棄物のガラス固化の技術、徹底した安全対策などを確認しました。2018年上期に再処理工場が竣工予定で、使用済燃料対策が確実なものであることを視察によって得ました。今回の視察はまさに「百聞は一見に如かず」というところでした。



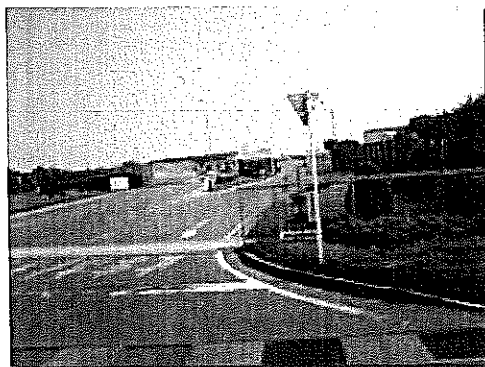
六ヶ所原燃PRセンター



PRセンター内で研修



PRセンター内で六ヶ所村における原子燃料サイクルの
説明を受けました



ウラン濃縮工場の入口。これ以降は一切の撮影禁止で
た

◎7月7日(金)

移動日のため、記載省略。

平成29年度 政務活動費使用簿 (会派)

管理番号			
使途項目	旅費		
使途内容	中国電力(株)三隅発電所 独立行政法人 造幣局広島支局 中国電力(株)本社 中央給電指令所視察		
調査年月日 (購入年月日)	平成30年 1月30日(火) ~ 平成30年 1月31日(水)		
政務活動費 支出額及び充当額	【項目別支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)
	研究研修費	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	調査費	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	旅費	196,500 円	196,500 円
・ 旅費	179,600 円	179,600 円	
・ バス借上料	12,100 円	12,100 円	
・ 高速道路代	円	円	
・	円	円	
□資料作成費	円	円	
□資料購入費	円	円	
□広報費	円	円	
□広聴費	円	円	
合計額	388,200 円	388,200 円	
備考	比良幸男、立脇通也、三島良信、森脇勇人、森脇幸好、吉金 隆、野津照雄、野々内誠 野津直嗣、柳原治、三島伸夫、米田ときこ、細木明美、出川桃子、河内大輔 (15名)		

(注意)
研究研修費、調査費、旅費、広報費(広報活動)、広聴費(意見聴取会)等に係る経費の場合、備考欄に参加議員名を記入すること

会派名 【 松政クラブ 】

領収書貼付用紙

使 途	旅 費
-----	-----

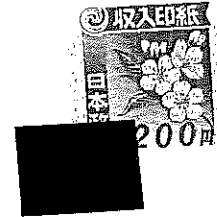
領 収 書

No. 003911

松政クラブ様

金 額	百万		千		円
	4	1	9	1	700

<input checked="" type="checkbox"/> 現金
<input type="checkbox"/> 小切手
<input type="checkbox"/> 手形
<input type="checkbox"/> 振込
<input type="checkbox"/> 相殺



但し 1/30~31 浜田・広島方面貸切バス有料道代

上記の金額正に領収致しました

平成 30 年 2 月 2 日

取扱者印



島根県知事登録第3種71号



代表取締役 持田 志

島根県松江市宍道町佐々布1
TEL 0852-66-0900 FAX 0852-66-1051

自由に、きままに、のんびりと。あなたの夢かなえます。

(注意)

- この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
- 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

会派名 【松政クラブ】

(様式 5)

旅費計算書

会派名 松政クラブ

用務先	・島根県三隅町 中国電力(株)三隅発電所 ・独立行政法人 造幣局広島支局 ・広島市中国電力(株)本社 中央給電指令所										
用務内容	・平成30年1月30日(火) 13:20~15:00 中国電力(株)三隅発電所について ・平成30年1月31日(水) 10:00~11:30 独立行政法人 造幣局広島支局 ・平成30年1月31日(水) 12:40~14:00 中国電力(株)中央給電指令所について										
出張期間 (出発及び帰市)	平成30年1月30日(火) ~ 平成30年1月31日(水)							(1 泊 2 日)			
旅 費 請 求 明 細											
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		備考
		到着地	宿泊地	路程	運賃等	特別料金	日数	定額	日数	定額	
H30.1.30	火	松江市	三隅町	km			日	円	日	円	
					バス借上げ		0.5	1,100	1	10,900	
H30.1.31	水	広島市 広島市	広島市 広島市		バス借上げ		0.5	1,100			
		松江市									
小 計							1	2,200	1	10,900	
一人当たり合計				参 加 人 数				会 派 合 計			
13,100 円				15 人				196,500 円			

※異なる路程で参加した者があった場合は、別に旅費計算書を作成すること。

- 備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
 2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
 3. 変更は朱書すること。

※ 路程欄

1/30	松江市役所	→	三隅発電所	→	広島市	→	宿泊先
			借上げバス		借上げバス		
1/31	宿泊先	→	独立行政法人 造幣局広島支局	→	中国電力(株)本社給電指令所	→	松江市役所
			借上げバス		借上げバス		借上げバス

(様式3-1)

研究研修、調査 報告書

松政クラブ 幹事長 森脇 幸好

- 1、期 間 平成30年1月30日(火)～平成30年1月31日(水)
- 2、会 場 等 1月30日(火)
中国電力㈱三隅発電所
〒699-3226 島根県浜田市三隅町岡見1810
- 1月31日(水)
独立行政法人 造幣局広島支局
〒731-5128 広島県広島市佐伯区五日市中央6-3-1
TEL082-922-1597
中国電力㈱本社・中央給電指令所
〒730-8701 広島県広島市中区小町4-33
TEL 082-241-0211
- 3、調査項目等 1月30日(火)
13:10～15:10
中国電力㈱三隅発電所視察(質疑応答含む)
・説明 エネルギー自給率や現在の電源構成について、三隅発電所の概要について
・視察 中国電力㈱三隅発電所の内部と外部
- 1月31日(水)
10:00～11:30
独立行政法人造幣局広島支局視察(質疑応答を含む)
・説明 造成局事業紹介・広島支局の説明、ビデオ上映
・視察 造幣局広島支局工場、展示室
- 13:00～14:00
中国電力㈱本社・中央給電指令所視察(質疑応答含む)
・説明 中国電力の電力事情と中央給電指令所の役割について
・視察 中国電力㈱中央給電指令所
- 4、講師(対応者) 1月30日(火)
・中国電力㈱三隅発電所視察
妹尾島根支店長、長谷川島根原子力本部副本部長
上田三隅発電所長、上玉利副所長、廣瀬副所長、田中総務課長
小山島根原子力本部地域共生部部長、河野社員

1月31日(水)

- ・独立行政法人造幣局広島支局視察
造幣局広島支局職員
- ・中国電力(株)本社・中央給電指令所視察
清水社長、迫谷副社長、渡部副社長
山下常務、北野常務、大崎電源事業本部部長
小山島根原子力本部地域共生部部長、河野社員

5、参加者 河内大輔、出川桃子、細木明美、米田ときこ、三島伸夫、柳原 治、
野津直嗣、野々内誠、野津照雄、吉金 隆、森脇幸好、森脇勇人、三島良信、
立脇通也、比良幸男 計 15 名

6、調査内容・所感等

◎1月30日（火）

朝、バスで向かった先は、浜田市三隅町の「中国電力㈱三隅発電所」です。

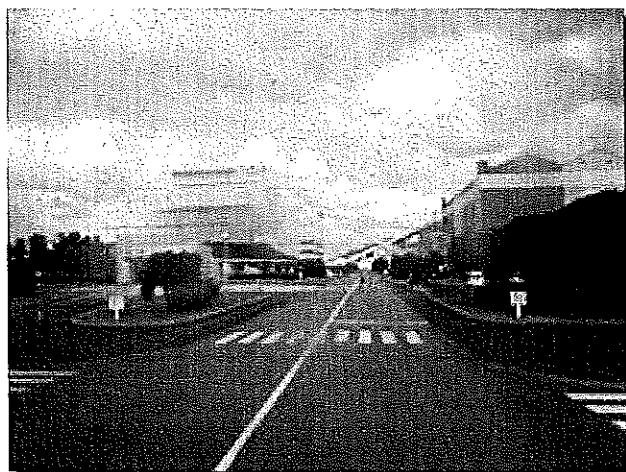
この三隅発電所については、1月12日に環境省は「三隅発電所2号機建設変更計画環境影響評価準備書」（中国電力株式会社）に対する環境大臣意見を経済産業大臣に提出したばかりです。この事業は、三隅発電所構内において、平成10年から石炭を燃料として運転を開始している1号機（出力100万kW）に加えて、石炭を燃料とする2号機を、出力100万kWにするものです。予定では、平成30年11月に着工し、営業運転開始は平成34年11月ということです。

30日は、平成10年6月に営業運転開始した1号機施設を視察しました。管理棟で説明を受けた後、内部を見て回りました。発電をする蒸気タービンの大きさにびっくりしたり、有害物質を出さないような施設群、燃料となる石炭の搬入・貯蔵施設、木質チップと石炭を混ぜての木質バイオマス発電のための施設などを視察しました。100万kWは島根県の全家庭の電力を賄う量に匹敵し、施設規模の大きさに目を見張りました。

廃棄物をできるだけ出さず、再資源化する取り組みも行われており、そのうちHiビーズは中海の湖水浄化にも役立っているということでした。

平成27年の我が国エネルギー自給率は7%で、平成12年の20%と比較すると大きく下回っています。この差は原子力によるところが大きいのですが、7%の内訳を見るとバイオマスや太陽光が増加しているとはいえ、全体の93%は輸入した化石燃料に依存をしている現実があります。

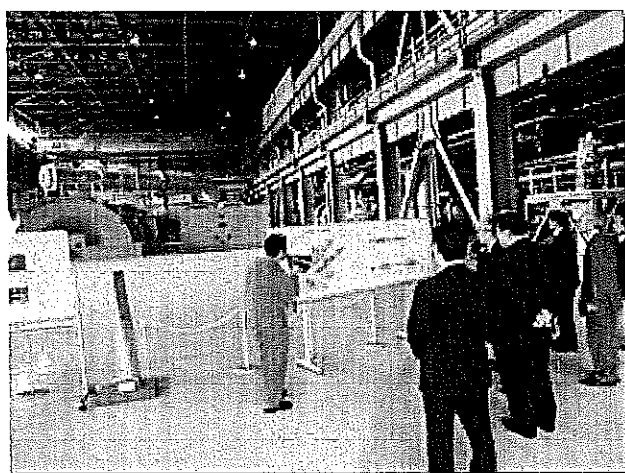
化石燃料を燃やすことは地球温暖化を進めることであり、地球全体では様々な影響が出てきています。そのため火力発電所では、限りなく二酸化炭素を出さない配慮が必要だと感じました。



中国電力㈱三隅発電所



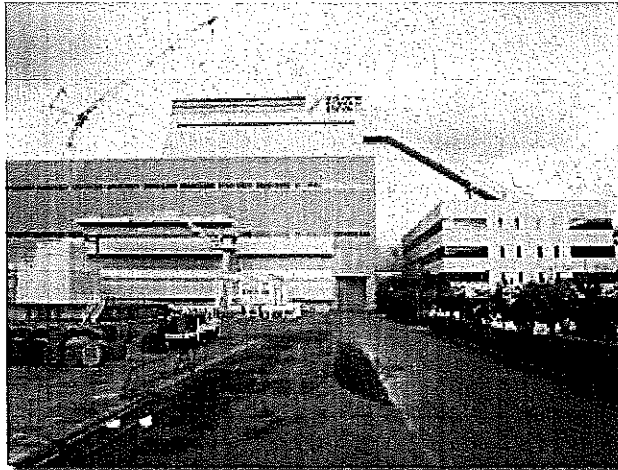
所内会議室で説明を聞きました



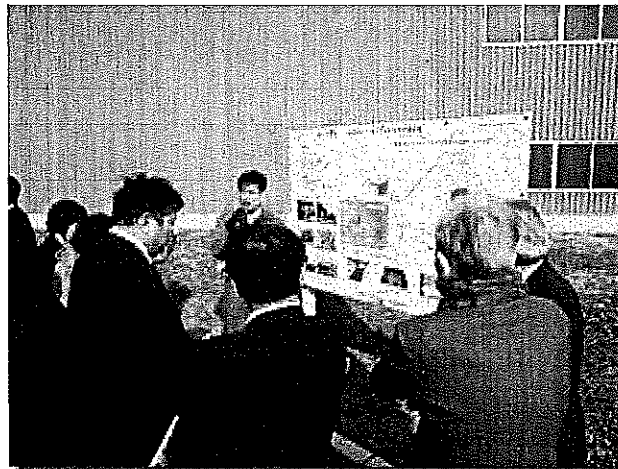
発電をする蒸気タービンの前での説明



施設の真ん中にある煙突は直径23メートル、高さは200メートルあり、冬場の煙突からは蒸気が見えます



大きい建物はボイラ



木質バイオマスの説明を聞いています

◎1月31日（水）

松政クラブ会派研修の2日目。まず広島市佐伯区にある「独立行政法人・造幣局広島支局」を視察しました。全国に3カ所（大阪・埼玉・広島）の一つとして、貨幣製造の一貫作業をしています。今回の視察を通して広島に貨幣製造工場があることを初めて知りました。丁度100円硬貨の製造を見ることができ、貨幣材料の溶解・圧延・圧穿・圧縁・圧印の工程すべてを見ることができました。信頼できる高精度の貨幣は日本の信頼でもあることを学習しました。



造幣局広島支局敷地内



した

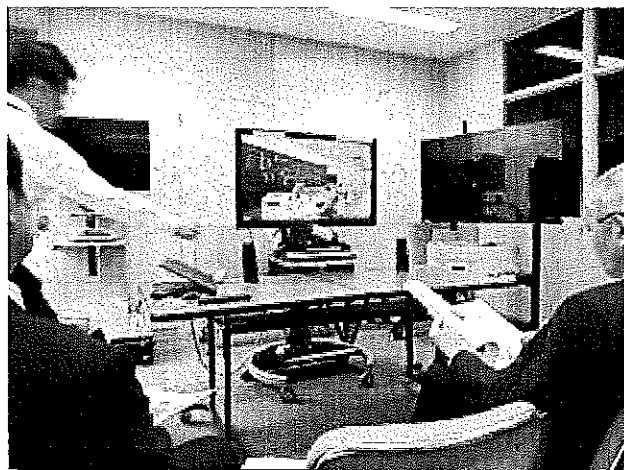
研修室のビデオで学習。工場内は撮影禁止で

次に、中国電力(株)本社を訪ね、中国地方の電力事情を研修。そして、中国電力中央給電指令所を視察しました。ここでは、24時間・365日、良質で安定した電力を中国地方全域に届けるための仕事を担っています。

電気の使用量はたえず変化しており、その増減に対応し周波数を60Hz（ヘルズ）に保つよう、発電所・変電所・送電線の電気の流れをコントロールしています。

隣接する訓練シュミレーター室では、実物と同じ機器を備え、事故時を想定した訓練を定期的に行っているそうです。実際に模擬訓練を見せていただきましたが、有事の際の電力復旧には水力発電所が直ぐ対応できるので有効であることに対し、火力発電所は操作を始めて蒸気を出し発電できるまでに数時間かかるため、水力発電は侮れないと説明を受けました。

中央給電指令所は、電気を送るための頭脳であり、大変な仕事であることを認識しました。



研修しました。施設内部は撮影禁止でした

中国電力中央給電指令所のビデオで概要を研